

公 式 試 合 記 録



公益社団法人

日本ホッケー協会

令和7年度 第57回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	試合日	開始時間	種別/プール/回戦	試合会場
	2025年12月22日	09:30	女子/準々決勝	川崎重工ホッケースタジアムA

チーム名 福井県立丹生高等学校	3 0 0 3 0 1 Q 2 Q 3 Q 4 Q 0 0	0 0 0 0	チーム名 天理高等学校
--------------------	---	------------------	----------------

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	臺丸谷 心咲 GK			
7	2	清水 美咲			
×	3	大蔵 いろは			
×	4	関 日菜乃			
×	5	手塚 怜香 C			
×	6	藤井 音々			
×	7	吉田 来夢			
×	8	森川 花			
×	9	渡邊 桜空			
×	10	吉原 仁菜			
×	11	関口 結希			
10	12	山田 心結			
54	13	野路 結南 GK			
59	14	井上 友里			
×	15	北山 倫瑠			
59	16	高島 麻央			
59	17	相浦 千嘉			
59	18	石黒 愛唯			
コーチ	小林葉月				

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	辻 爽楽 GK			
×	2	清水 梨緒那			
×	3	佐野 優羽風			
	4	遠田 ゆう			
21	5	山本 真央 C			
×	6	矢野 友徠			
×	7	松本 晏奈			
×	8	薄葉 弓綾			
×	9	飯島 花成			
×	10	伊藤 美月			
	11	井出 せつ			
×	12	鎌田 歩花			
×	13	山本 日夏華			
	14	酒井 琉果			
10	15	薄葉 千璃			
×	16	榎本 光希			
52	17	榎本 朱里			
40	18	寺島 希音			
コーチ	竹原 淳				

監 督 吉田能克
アンパイア 山田 恵美
スコアリングジャッジ 浜井 佑季
T O 中野 典子

監 督 加藤 理恵
アンパイア 王 しんじえ
タイミングジャッジ 高島 匡代
リザーブアンパイア 山本 昂

得点【種類：FG＝フィールドゴール、PC＝ペナルティコーナー、PS＝ペナルティストローク】																						
チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点		
丹生高校	32	11	FG	1	-	0																
丹生高校	33	5	FG	2	-	0																
丹生高校	44	5	PC	3	-	0																

特記事項:

日本ホッケー協会

日本ホッケー協会

チーム名	福井県立丹生高等学校	3	0	1	Q	0	0	チーム名	天理高等学校
			0	2	Q	0			
			3	3	Q	0			
			0	4	Q	0			

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	辻 爽楽 GK			
×	2	清水 梨緒那			
×	3	佐野 優羽凪			
	4	遠田 ゆう			
21	5	山本 真央 C			
×	6	矢野 友徠			
×	7	松本 晏奈			
×	8	薄葉 弓綾			
×	9	飯島 花成			
×	10	伊藤 美月			
	11	井出 せつ			
×	12	鎌田 歩花			
×	13	山本 日夏華			
	14	酒井 琉果			
10	15	薄葉 千璃			
×	16	榎本 光希			
52	17	榎本 朱里			
40	18	寺島 希音			
コーチ		竹原 淳			

監督 加藤 理恵
アンパイア 王 しんじえ
タイミング ジャッジ 高島 匡代
リザーブ アンパイア 山本 昂

[illegible]

戦 評：

第1Q、天理高等学校のセンターパスにより試合が開始された。開始早々、丹生がPCを獲得するも得点する事は出来ない。一進一退の攻防が続く中、お互いに決定的なチャンスを作ることが出来ず、0-0で第1Qが終了。

第2Q、19分丹生#6藤井が右サイドから巧みなドリブルでリバースシュートを放つも天理GK#1辻のスーパーセーブで得点を許さない。攻撃の手を緩めない丹生はドリブルで果敢に攻め込むも、天理の組織的な守備を崩すことはできない。27分天理#10伊藤にシュートチャンスが訪れるも、丹生の体を張った守備に阻まれる。その後も互いに白熱した試合が続き、両者無得点のまま前半が終了。

第3Q、32分丹生は左サイドからテンポ良くパスを繋ぎ、#11関口がシュートを決め、先制点を上げる。更に勢いに乗った丹生33分#5手塚がリバースシュートを決め2-0とする。44分丹生がPCを取得し、バリエーションから#5手塚がタッチシュートを決め3-0で丹生が天理を引き離し、第3Qが終了。

第4Q、丹生は開始から猛攻を仕掛けるも、天理の粘り強い守備により苦戦する。得点が欲しい天理は積極的にサークルにボールを打ち込みチャンスを作る。8分天理がPCを取得するが、丹生GK#1基丸谷の好セーブにより得点には至らない。11分天理が激しいプレッシャーからボールを奪うが、サークル侵入には至らず試合はそのまま終了。3-0で福井県立丹生高等学校が準決勝へと駒を進めた。